

磐梯朝日遷移プロジェクト平成 26 年度連携研究成果報告書

プロジェクトの成果の普及に向けた 裏磐梯のガイドを中心とするエコツーリズム関係者のヒアリング

川崎興太・塘 忠顕・黒沢高秀・三部和哉・星 優太・佐藤 歩

主として、以下の 4 点について取り組んだ。

1. 裏磐梯エコガイドの会の会員に対するヒアリング調査

平成 26 年 6 月 10 日、7 月 2 日、7 月 5 日に、裏磐梯エコガイドの会の会員である 14 人全員を対象として、五色沼自然探勝路を中心とするエコツアーでのガイダンスの内容に関するヒアリング調査を行った。本調査を通じて得られた情報については、ガイドごとに地図として整理した。ヒアリング調査や下記「3」の体験に基づき、ガイドの補助資料としても活用できる「裏磐梯地域の底生動物に関するミニガイドブック」を作成した。



2. 裏磐梯エコガイドの会の会員に対するアンケート調査

平成 26 年 6 月 10 日に、裏磐梯エコガイドの会の会員である 14 人全員を対象として、ガイドの属性、ガイドになった動機、ガイドとガイダンスの実態、磐梯朝日遷移プロジェクトの認知度、裏磐梯でのエコツーリズムの問題点と改善点などを把握するためのアンケート調査票を配付し、9 月 2 日までに全員から回収することができた。本調査を通じて得られた成果については、下記「4」の調査結果とあわせて、学術論文として発表したいと考えている。

3. エコツアーの体験

平成 26 年 10 月 24 日に、五色沼自然探勝路におけるエコツアーに参加し、ガイドが実際にどのようなガイダンスを行っているかを体験した。この機会を通じて、エコツアーの参加者としての立場からガイダンスの実態に関する知見を得ることができた。



4. 全国のエコツーリズム地域推進組織に対するガイドに関するアンケート調査

我が国全体のエコツアーのガイドに関する問題点と対策について把握するため、全国のエコツーリズム地域推進団体である全 29 団体を対象として、平成 26 年 11 月 25 日からアンケート調査票を配付し、12 月 26 日までに 23 団体から回収することができた（回収率 79%）。本調査を通じて得られた成果については、上記「2」の調査の成果とあわせて、学術論文として発表したいと考えている。